

有田恵子の市長選公約

1、 疑惑の解明と市政刷新

旭市は伏魔殿です。疑惑の殿堂です。信じられない税金の無駄遣い案件が次々上程され、それが全て通ってしまうのです。旭市の財政はドンの食い物になっております。疑惑の解明と市政刷新が緊急の課題となっております。そのための手段として、これまで私が追求し無視されてきた疑惑案件を通すために、虚偽のシナリオを描き、虚偽の説明をした市職員にヒヤリングを実施し、その経緯、責任の所在を追求し、再発防止を徹底します。そして公平な能力主義の人事体制を確立します。また、「市民ファースト、全ては市民のために」の標語を掲げ、市民のためにならないことは全て取りやめます。

2、 経費削減による健全財政の確立

少子高齢化、人口減少が加速化しております。子孫に負債を残してはいけません。今後借金は原則行いません。そのため、全ての経費を全面的に見直して圧縮します。具体的には、交際費の削減、不公平な補助金の廃止、市職員の定数30%削減（人員整理は行いません、途中採用の廃止、新規採用の半減、天下りの廃止で時間をかけて実現）、また、縁故採用は当然のことながら全廃します。健全財政が確立されるまで市長報酬の半額返上を約束します。

3、 情報開示の徹底

個人情報や入札予定価格などを除き、市政に秘匿すべき重要な機密事項がある筈がありません。情報開示を徹底します。私は、私が応募し、落選した市営の国民宿舎飯岡荘の貸付先公募検討委員会議事録の開示を求めました。ところが交付された文書は大部分がマジックで黒塗りされ、どんな議論が行われたのか全く分からないものでした。貸付先の選定会議議事録に機密事項があるはずがありません。市の隠ぺい体質は異常です。原則として全ての文書を過去の分を含めてそのまま開示し、このような黒塗り開示は原則行いません。

4、 新庁舎を現在地で建て替えます

昨年12月の定例市議会で、新庁舎を文化の杜公園に建設することが決定しておりますが、これを撤回し、現在地での建て替えに変更します。新庁舎建設用地には国の補助金1億1800万円を含め2億5770万円の巨費が投入されております。これを無駄にするのはもったいないからです。しかも、代替施設として現庁舎跡地に防災公園の整備が要求されているのです。このために少なくとも1億円はかかるでしょう。約3億5千万円もの税金をドブに捨てるのは許せないからです。

5、 三川蛇園連絡道路の修正

税金の無駄遣い、疑惑案件の最たるものが三川蛇園連絡道路の建設でしょう。飯岡バイパスの江畑老人ホーム入口にある宮内グリーンから料亭なみかわの近くの交差点に至る僅か2キロ余りの曲がりくねったバイパス建設に、市は25.5億円もの巨費を投入しようとしております。投資額が巨額になる理由はJRを潜るトンネル工事に14億円もかかるためです。市長はこの道路建設は合併時の最重要課題であったと証言しておりますがこれは大嘘です。また、市は、千葉県へ提出した申請書にこの道路建設を推進する理由として 飯岡バイパスの混雑緩和と 通学路の確保を掲げております。しかし、これが大嘘

であることも市民の皆様なら誰でも分かることです。

私はこの道路建設に関する費用対効果の計算式とその結果を定例会議で再三再四請求してきましたが、難しく出来ないとの回答です。しかし、公共工事は着工前に費用対効果を算出し、値が1以上でなければ着手していけないことは常識です。おそらく、市は計算していて費用対効果が1以下で限りなく0に近いので回答できないものと思われまます。

この道路を作る必要性は全くありません。本来着工すべきではなかったのです。しかし既に一部完成しており、未完成のまま放置しておくことは危険です。14億円もかかる無駄なトンネルを作らない形で何とか供用できるように修正します。

6、 銚子横断道路の推進

高速道路無くして観光開発も工場誘致も困難です。しかし、現在予定されている光横芝からの延伸は用地買収が困難で建設は永久に不可能でしょう。現在一部完成している国道30号線沿いの高速道路を海岸線沿いに防波堤を兼ねて犬吠経由銚子まで延伸します。そしてこの高速道路と東金自動車道を片貝まで延伸し、ドッキングさせれば銚子横断道路は自ずから完成するのです。このルート変更を県や国に交渉します。現在津波対策として九十九里浜に防波堤を建設中ですが、これを活用して高速道路に変換すれば飯岡漁港までは直ぐに高速道路が作れるでしょう。

7、 道の駅「きらり旭」の設備、建物を自己所有に切り替えます。

現在は設備や建物が市の所有になっていて無料で貸与しております。このため、20万円以上の修繕が発生した場合市税で補てんしております。また、設備や建物について減価償却が行われておりません。このままでは耐用年数が過ぎて更新、建て替えするときには市が新たに税金を投入しなければなりません。道の駅「きらり旭」は株式会社です。修繕費や減価償却費を自己負担するのは当たり前です。

8、 古墳群の整備

旭市には円墳や前方後円墳など各種の古墳がありますが、全く管理されておらず、荒れるに任せ消滅の危機にあります。これを整備し、貴重な観光資源として活用します。

9、 蛸の里の整備

全国的に蛸の生息地は減少しております。蛸池を整備し、観覧場所を整備し、駐車場を整備し、貴重な観光資源として活用します。殆ど車の通らない三川蛇園連絡道を整備し、臨時の駐車場にすることも考えられます。

10、 川口沼のあやめ園の拡大整備

現在は広大な沼の一部にあやめが植えられております。市の補助金を投入し、広大なあやめ群を形成し、貴重な観光資源として活用します。

1 1、都市計画の策定

都市計画を策定し、車のすれ違いのできない道路、雨が降ると長靴を履かないと外出できない道路をなくします。具体的には、拡張用地を寄付して頂ける所で、かつ緊急性の高い所から優先的に実施します。

1 2、人口増対策の実施

銚子市も匝瑳市も消滅可能性都市になっております。旭市は幸い消滅可能性都市に入っておりませんが、このままでは人口減少は避けられません。人口流入対策を実施するとともに、子育て支援を徹底します。具体的には市による無料の婚活パーティーの実施、出産費用の全額補助、義務教育の給食費を含めて全額無償化、子供の運動場利用の無料化などを検討します。

1 3、「直ぐやる課」の新設

市民の要望を受けつける課「直ぐやる課」を新設します。受け付けた市民の要望は、直ちに「直ぐやる課」でその必要性、緊急性、重要性を検討し、次いで緊急性の高いものから市長及び関係部署と三者打ち合わせを実施し、順次確実に実施します。

1 4、外部監査人の交代

袋公園の駐車場用地購入、飯岡中学の外講工事の増額申請など、信じられない税金の無駄遣い疑惑案件が次々実行されているにもかかわらず、現在の外部監査人は何ら指摘をしておりません。疑惑を指摘し、正しい監査をしてくれる外部監査人と交代させます。